

大阪市立美術館開館 90 周年記念特別展 「水滸伝」開催記念シンポジウム 水滸伝をひもとく—テキストとイメージの900年

日時：2026年8月22日（土）午後1時～午後5時（午後0時30分開場）

定員：150名（事前申し込みが必要）

主催：東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門、水滸伝展実行委員会

場所：大阪市立美術館 じゃおりうむ

方法：対面のみ（オンライン配信なし）

司会 松浦智子（神奈川大学）

プログラム

参加の事前申し込みはこちらから！→

【URL】※右のQRコードのリンク先
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScG9U3N19EcuJJmCCzYCaw9b0f721c02fsGJ9AeGQ3yXc878A/viewform>



趣旨説明 荒木達雄（東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門）
水滸伝を愛した日本の先人たち～東京大学所蔵本から

基調講演① 小松謙（京都府立大学名誉教授） 『水滸伝』の世界

基調講演② 笠井直美（名古屋大学） 「義賊」の誕生、そして「忠義」の臣へ

発表① 佐高春音（大阪大学） 書物の中の実況中継？——「評点」と楽しむ『水滸伝』

発表② 上原究一（東京大学） 『水滸伝』の諸版本——本文いろいろ、挿絵もいろいろ

発表③ 八田真理子（大阪市立美術館） 描かれ、修正された豪傑像——水滸伝人物図巻の比較

発表④ 田村容子（北海道大学） 『水滸伝』の女性たちと20世紀京劇

発表⑤ 加藤徹（明治大学） 革命戦争の教科書——中国人の読み方と北方水滸伝